

令和2年上半期における交通死亡事故の発生状況

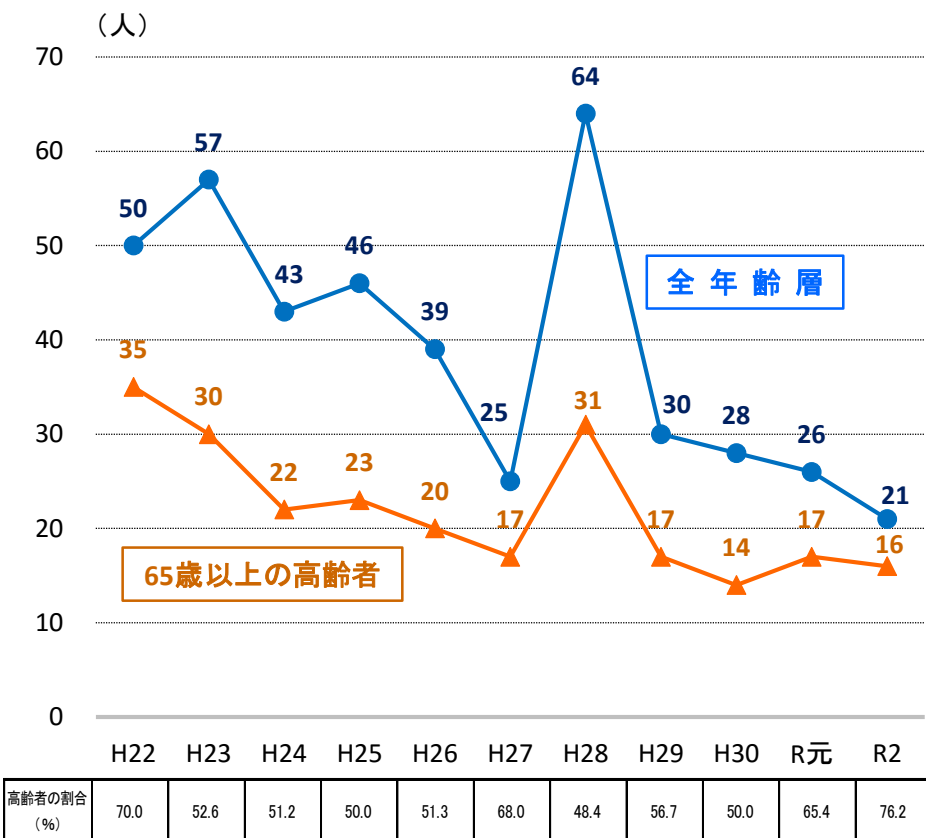
令和2年7月30日
長野県警察本部
交通部交通企画課

【概況】		交通事故死者数
交通死亡事故件数は減少	(21件、-4件、-16.0%)	21人、-4人 (-16.0%)
・減少	人対車両事故 (7件、-4件、-36.4%)	
	車両相互事故 (5件、-2件、-28.6%)	
・増加	車両単独事故(※) (9件、+2件、+28.6%)	
※	車両単独事故のうち、原付以上4件、-2件、-33.3%	
	自転車、5件、+4件、+400.0%	
	(自転車の単独死亡事故5件は全て高齢者)	

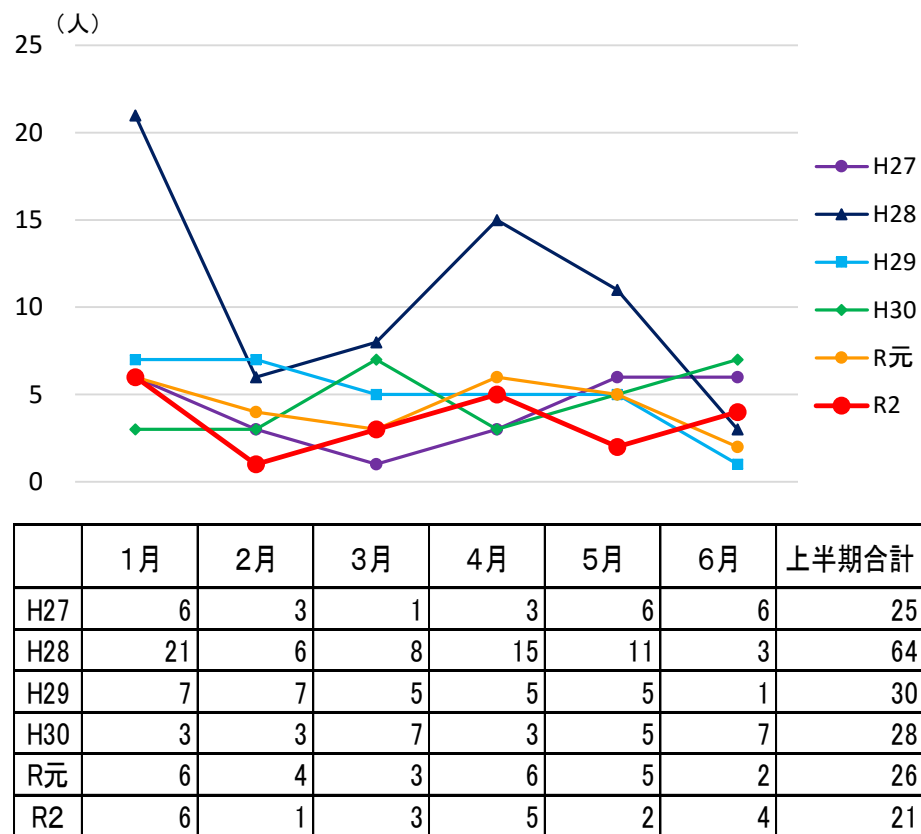
(注)・本資料は、令和2年7月21日までに入手したデータにより作成したものである。
・構成率は、四捨五入して表記しているため、構成率の合計が100%とならない場合がある。

1 交通事故死者数の推移

交通事故死者数の推移 【各年上半期】

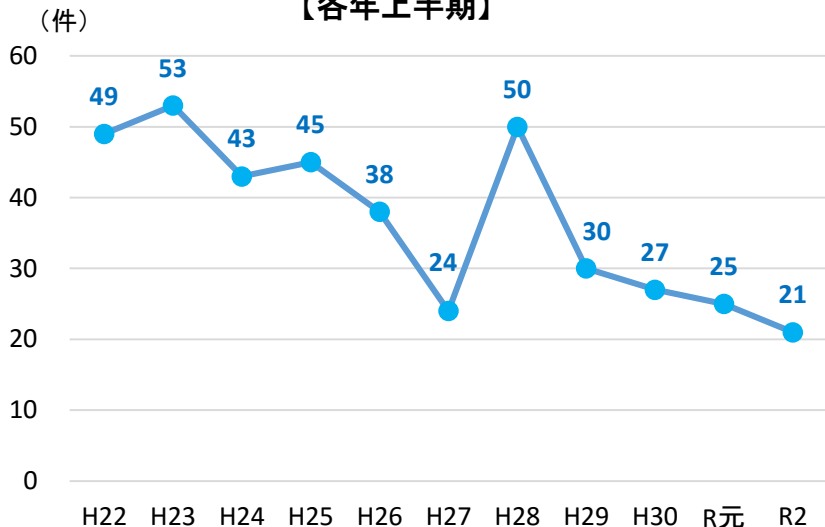


月別交通事故死者数の推移

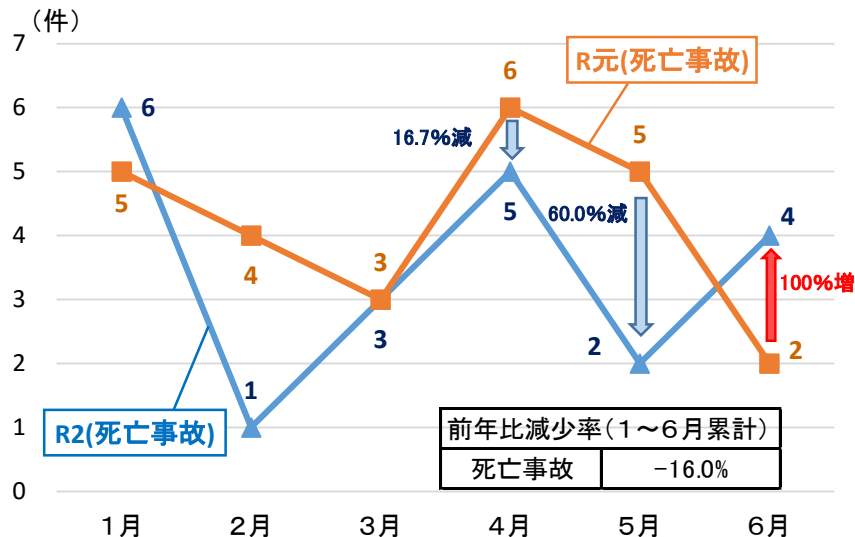


2 交通事故発生状況の推移

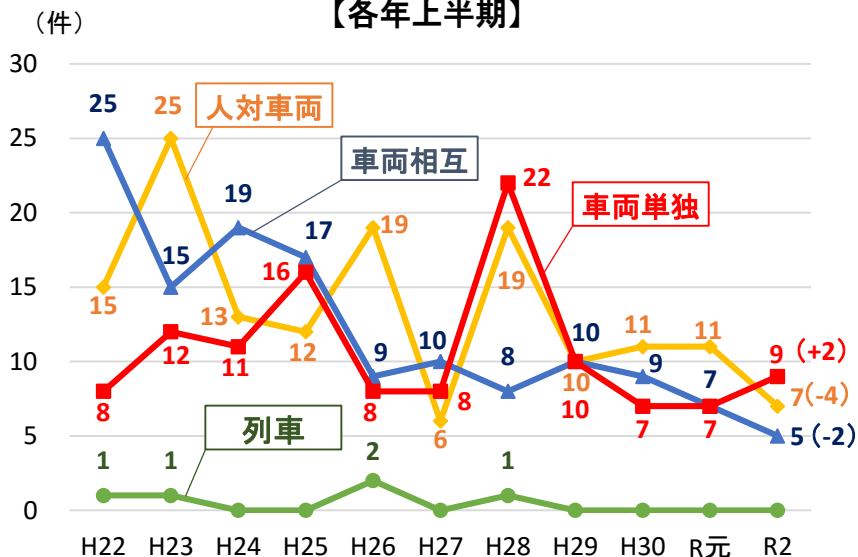
死亡事故件数の推移 【各年上半期】



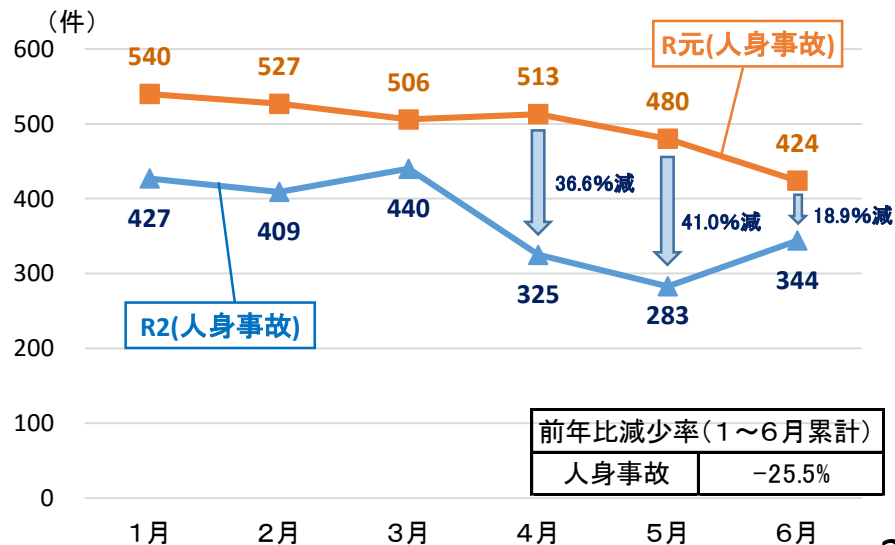
月別死亡事故件数の推移



事故類型別死亡事故件数の推移 【各年上半期】

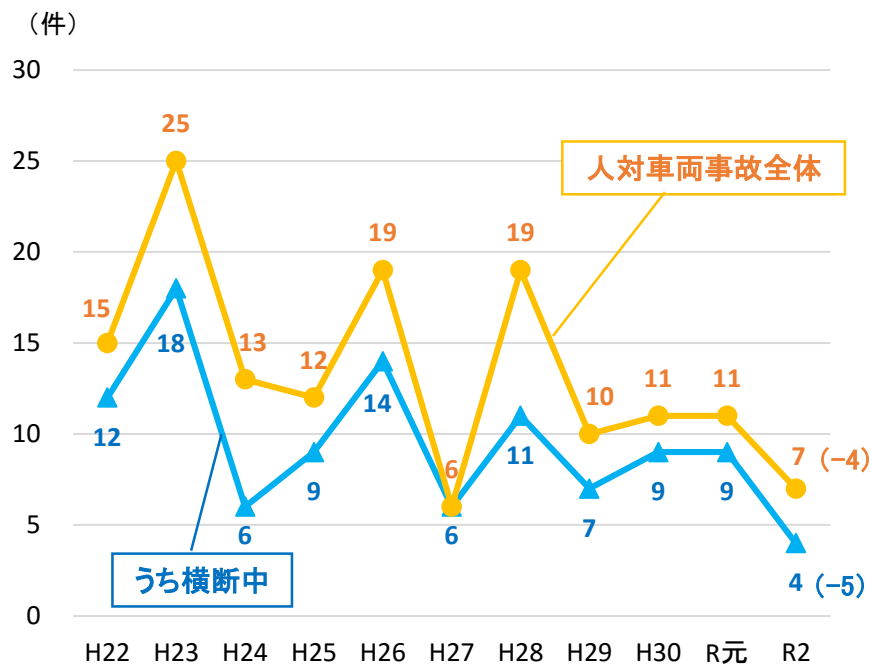


【参考】月別人身事故件数の推移

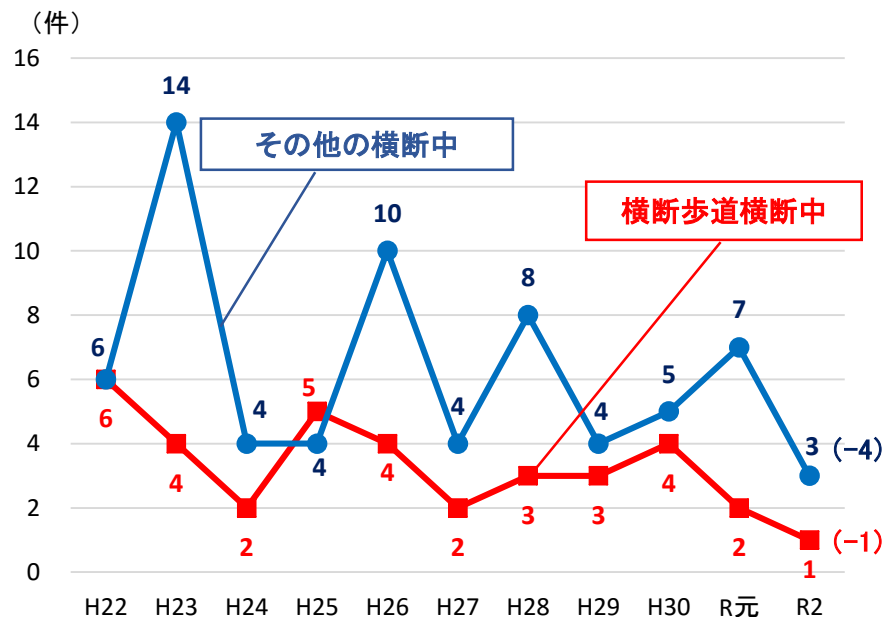


3 人対車両死亡事故の状況

事故類型別死亡事故件数の推移
【各年上半期】



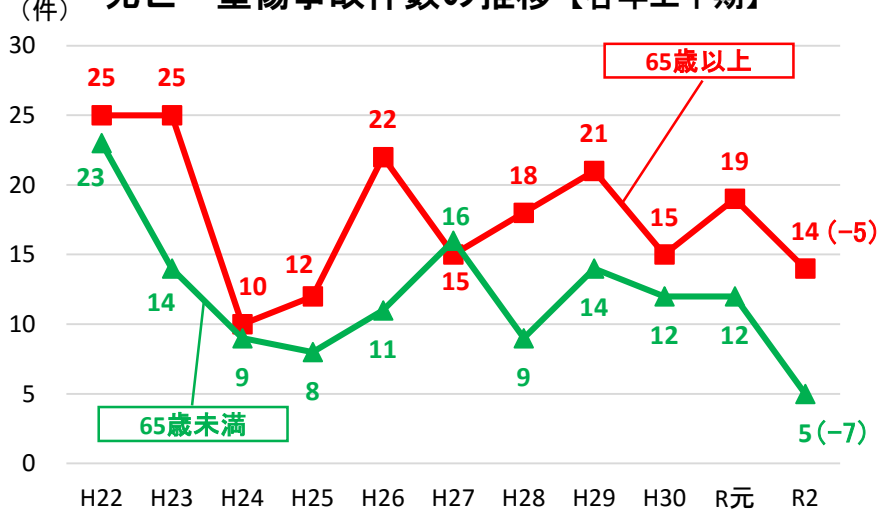
歩行者横断中死亡事故件数の推移
【各年上半期】



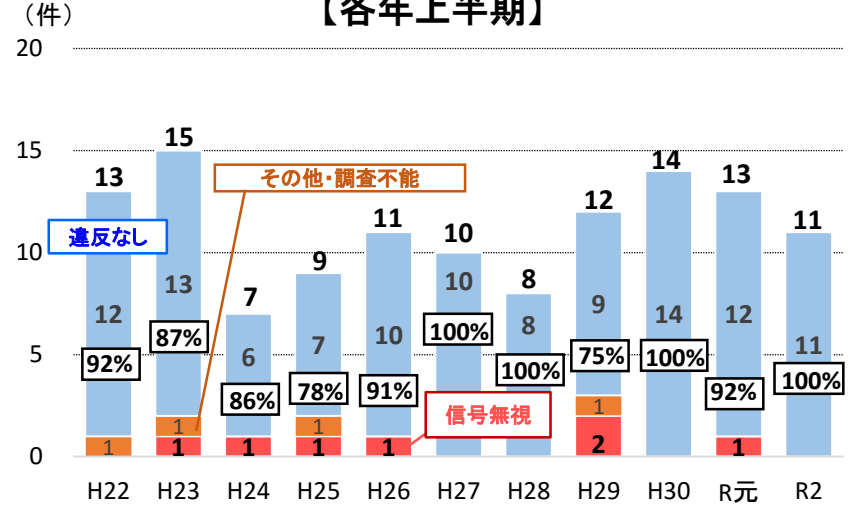
(注) ・「その他の横断中」は、横断歩道付近、横断歩道橋付近等を含む。

4 横断歩道横断中事故(人対車両)の状況

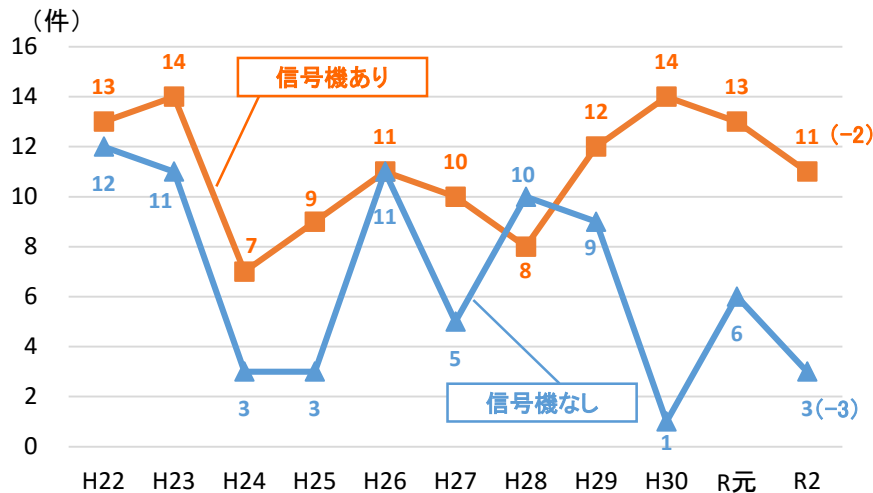
横断歩道横断中歩行者の年齢層別
死亡・重傷事故件数の推移【各年上半期】



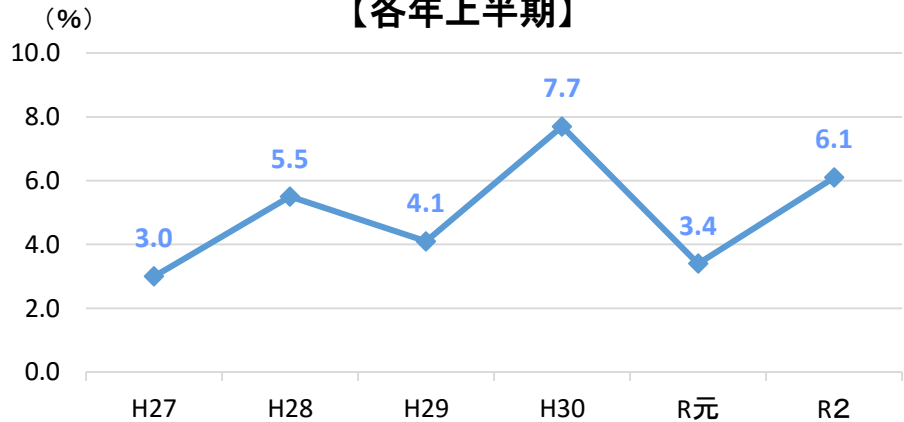
横断歩道横断中(信号機あり)死亡・重傷事故における65歳以上高齢歩行者の法令違反状況の推移【各年上半期】



信号機の有無別横断歩道横断中65歳以上
高齢歩行者の死亡・重傷事故件数の推移【各年上半期】



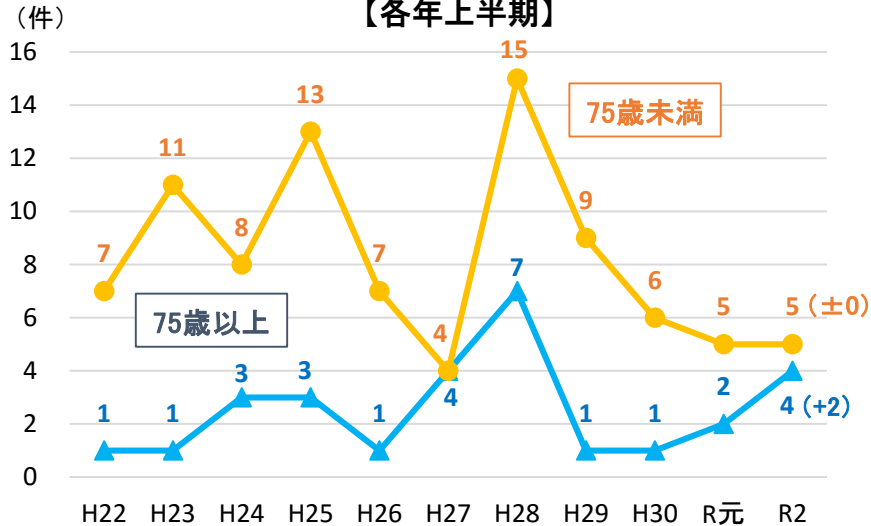
【参考】横断歩道横断中人身事故における
自動車の危険認知速度40km/h超の構成率の推移【各年上半期】



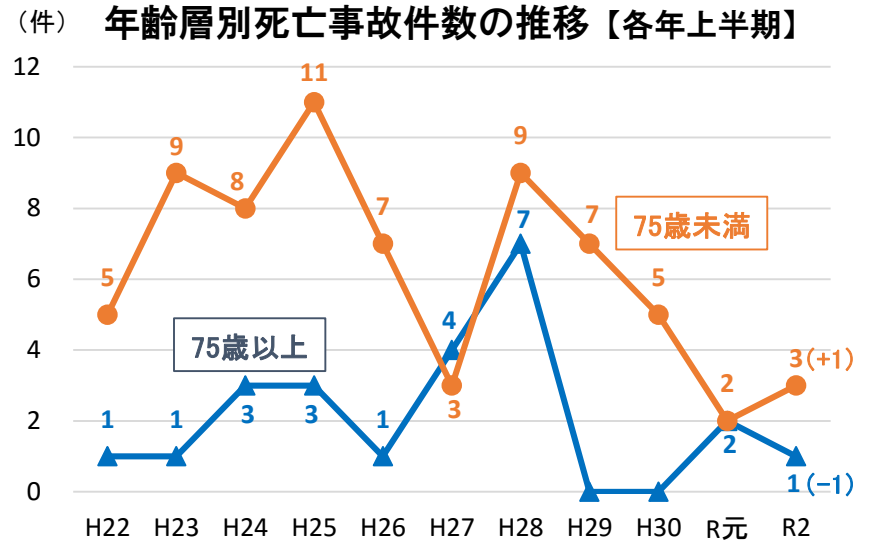
(注) ・一般道における横断歩道横断中事故の自動車運転者が第1当事者の人身事故件数から構成率を算出した。

5 車両単独事故の状況

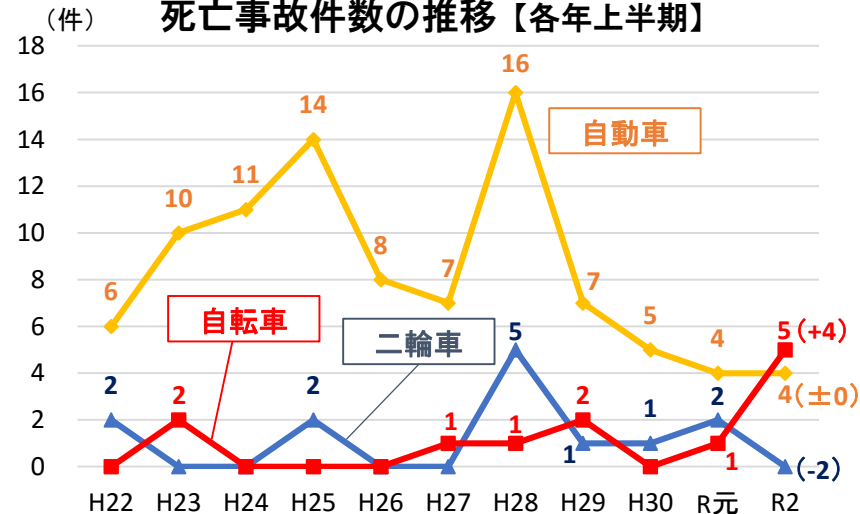
車両単独事故の年齢層別死亡事故件数の推移【各年上半期】



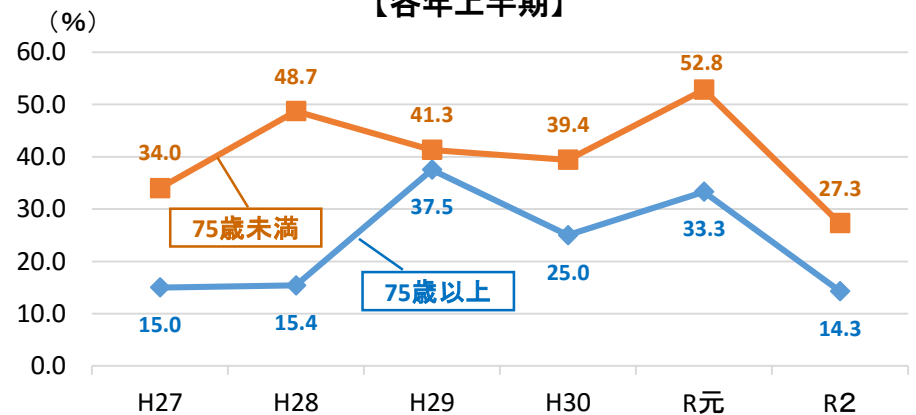
自動車の車両単独事故における年齢層別死亡事故件数の推移【各年上半期】



車両単独事故における当事者別死亡事故件数の推移【各年上半期】



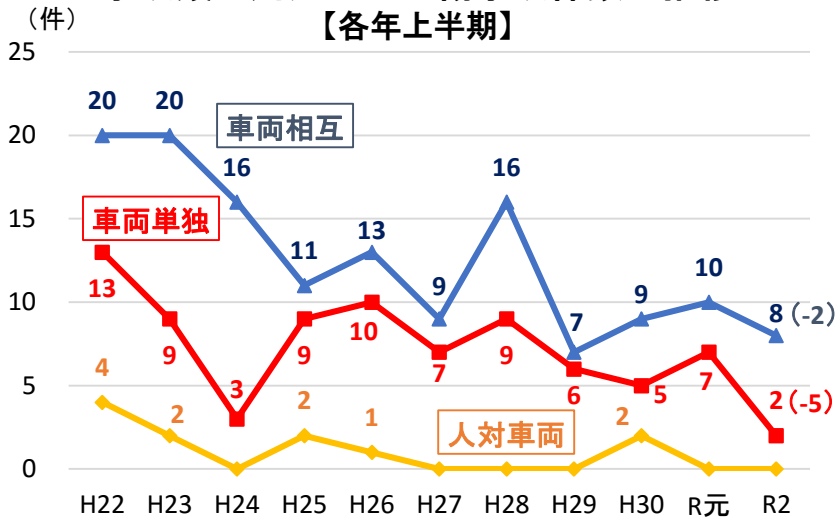
自動車の車両単独人身事故における危険認知速度40km/h超の年齢層別構成率の推移【各年上半期】



(注) ・一般道における車両単独事故の自動車運転者が第1当事者の人身事故件数から構成率を算出した。
 ・調査不能を構成率から除外した。

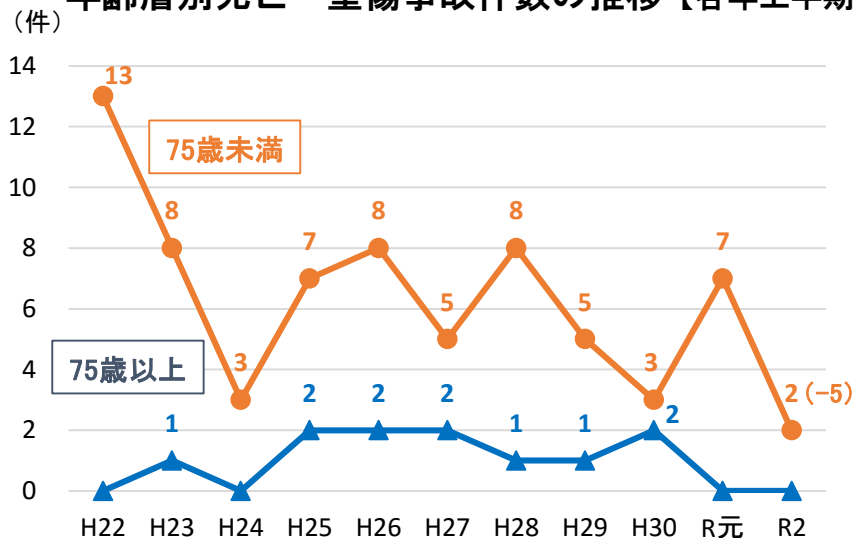
6 二輪車運転者による交通事故の状況

二輪車運転者による 事故類型別死亡・重傷事故件数の推移 【各年上半期】

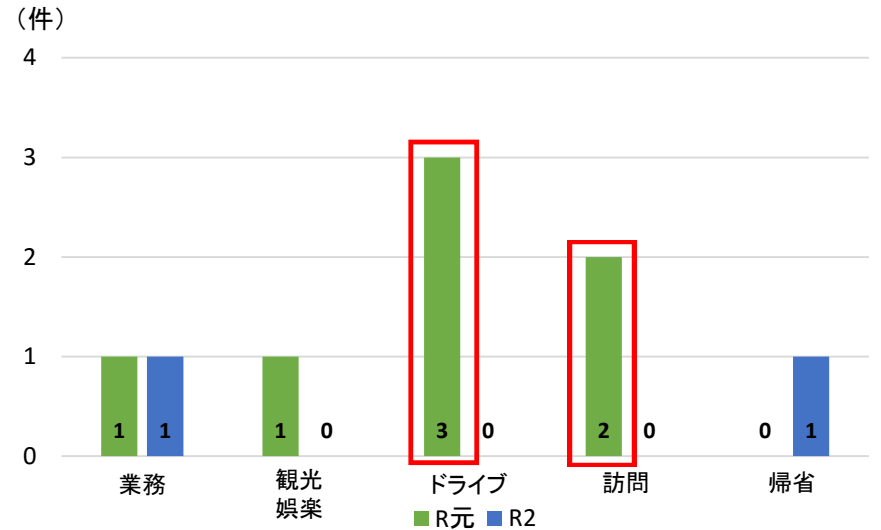


(注)・第1当事者が二輪車(自動二輪車、原付)の件数である。

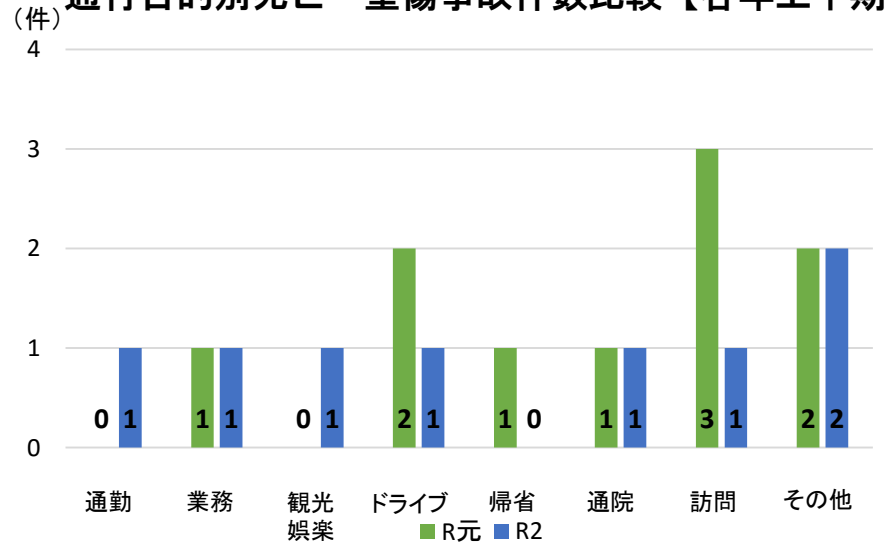
車両単独事故における二輪車運転者の 年齢層別死亡・重傷事故件数の推移【各年上半期】



車両単独事故における二輪車運転者の 通行目的別死亡・重傷事故件数比較【各年上半期】



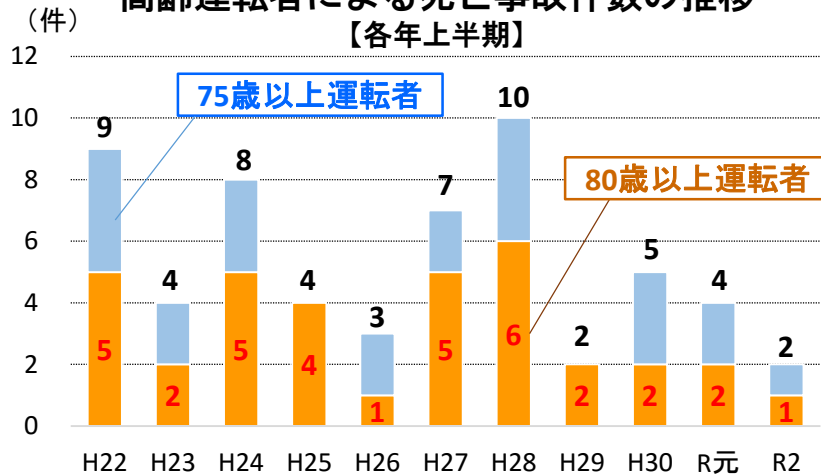
車両相互事故における二輪車運転者の 通行目的別死亡・重傷事故件数比較【各年上半期】



(注)・第1当事者が二輪車の件数である。

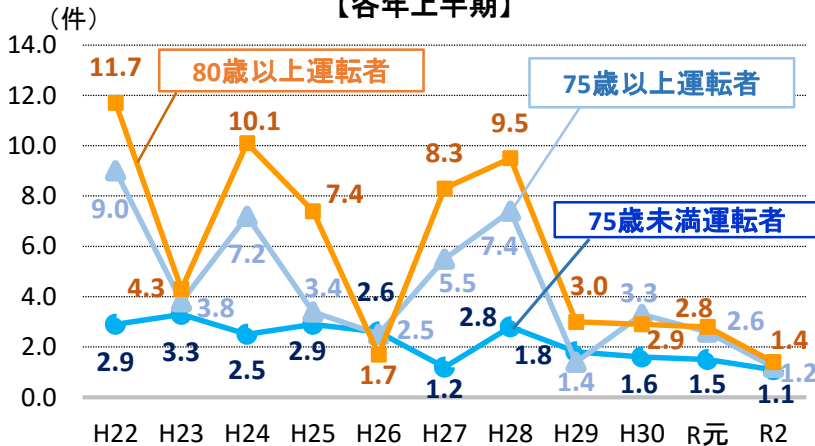
7 高齢運転者による交通事故の状況

75歳以上・80歳以上
高齢運転者による死亡事故件数の推移
【各年上半期】



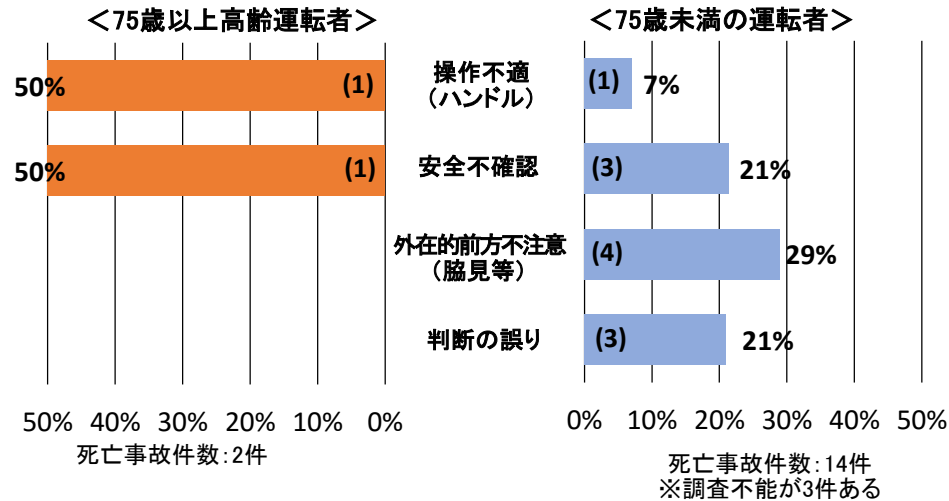
(注)・第1当事者が原付以上の件数である。

運転者（原付以上・第1当事者）による年齢層別
免許人口10万人当たり死亡事故件数の推移
【各年上半期】



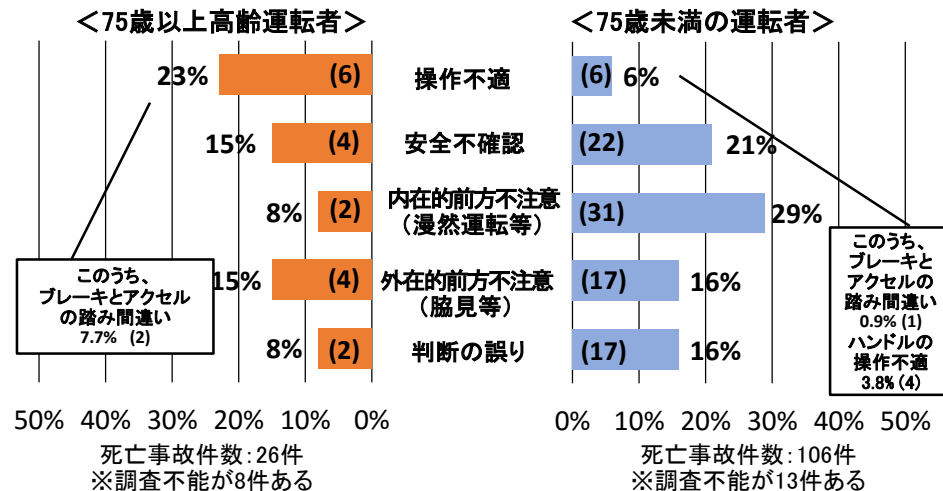
(注)・第1当事者が原付以上の件数である。
・算出に用いた免許人口は、各前年12月末の値である。

自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較
【令和2年上半期】



(注)・第1当事者が自動車の件数である。

【平成27年～令和元年各年上半期合計】



(注)・第1当事者が自動車の件数である。